

くちなしとジャスミンのあいだで

今村遼佑

Between Gardenia and Jasmine

Ryosuke Imamura

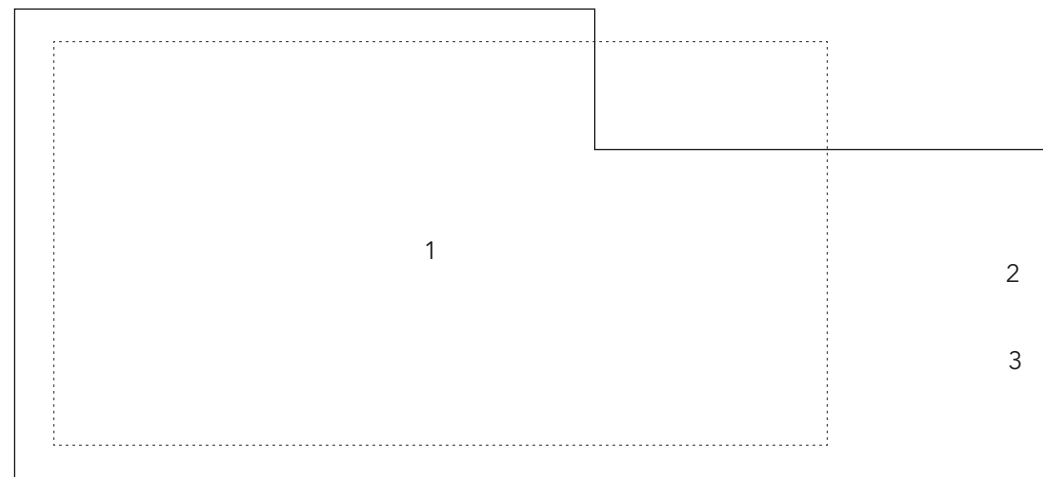
個展タイトルになっているインスタレーションは、作家が昨年8月まで一年滞在したワルシャワで、ジャスミンの匂いがくちなしの匂いにとても似ていた、その匂いから想像するものは現地の知人たちとの間に差はあるが、しかしその違いを含みながらも、何かを共有できた気がした、というところから発想されています。

入り口付近の映像では、作家がワルシャワ中の香水屋をまわり、次から次へジャスミンの香水を集めていく映像、もう一点の映像では、ワルシャワの夜の街を歩いてネオンを写真に収め、それをコラージュのように切り貼りしてモノローグのようなテキストを作っています。壁ではくちなしで染められた糸がゆっくりとまわりつづけ、身の回りのものを型取りしてつくられた石膏と、空間全体には映像の中で集められた香水が散布されています。

作品リスト

- 1 くちなしとジャスミンのあいだで | 2018
映像 2点、くちなしで染めた糸、モーター、石膏、香水
- 2 lemon | 2016
インクジェットプリント、額
- 3 lemon | 2016
インクジェットプリント、額

1F |



映像 日本語訳

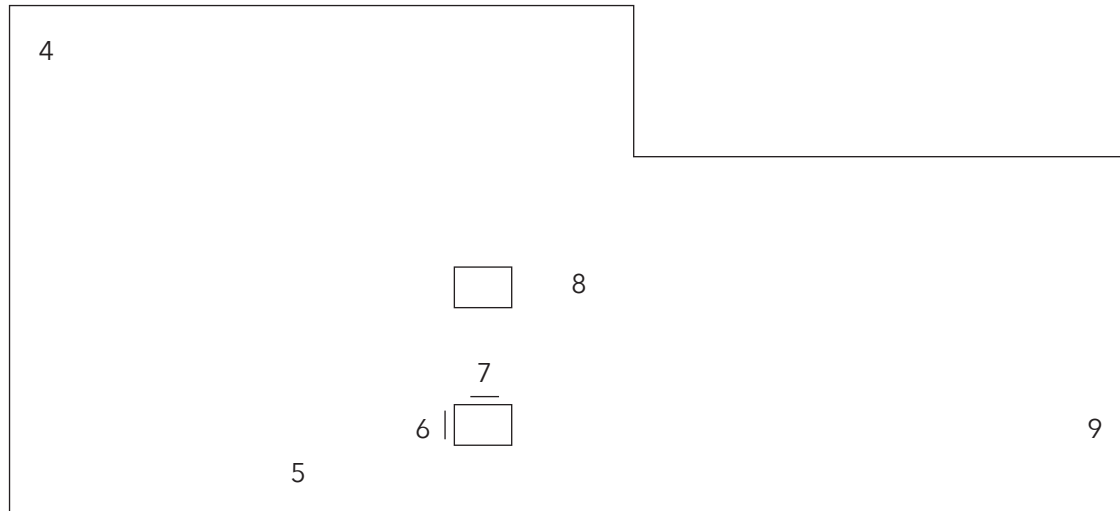
ここに来た時
あたりは真夜中で
何も見えなかった

そこを発った時
あたりは真夜中で
花の匂いだけがしていた
その匂いは、夏の雨を思い出させた
夜は
境界線を隠す

こちらとあちら
過去と現在
現実と虚構
充満と空虚

ただネオンと街灯だけが
光を地面に降り注ぐ

2F |



2Fの入り口で靴を脱いで作品をご覧ください。

作品リスト |

4 街灯と辞書 | 2015

辞書、ミニチュアの街灯、LED、電池、その他

5 灯台と粘土 | 2018

粘土、LED、アクリルパイプ、石粉粘土、電池

6 ひかりのドローイング・雨 #01 | 2017

紙、鉛筆、LED、電子回路、電池、額

7 ひかりのドローイング・雨 #02 | 2017

紙、鉛筆、LED、電子回路、電池、額

8 ひとり | 2008

本、彩色したミニチュアの馬、時計、電池

9 コンクリートブロックと街灯 | 2009

コンクリートブロック、LED、粘土、電池